

授業科目名： 重複障害教育総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 原田公人 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・心身に障害のある幼児・児童又は生徒の心理・生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児・児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：重複・LD等領域)		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1)視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱を含む重複障害に関する心理・生理・病理について理解する。 (2)重複障害の状態や特性及び心身の発達の段階、特別支援学校の教育実践に即した教育課程の編成の方法とカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方を理解する。 (3)視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱を含む重複障害に関する教育課程・指導法(自立活動を含む)について理解する。			
授業の概要			
視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱を含む重複障害に関する心理、生理、病理について理解するとともに、重複障害の状態や特性及び心身の発達の段階、特別支援学校の教育実践に即した教育課程の編成の方法とカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方、重複障害に関する教育課程・指導法(自立活動を含む)について学習する。			
授業計画			
第1回：特別支援教育における重複障害教育 第2回：重複障害児の現状と課題 第3回：重複障害児の理解・実態把握 第4回：「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」及び各規定の適用方法 第5回：重複障害に関係する各障害の教育課程・指導法(自立活動を含む)① 視覚障害・聴覚障害 第6回：重複障害に関係する各障害の教育課程・指導法(自立活動を含む)② 知的障害・肢体不自由・病弱 第7回：重複障害の指導 ①自立活動 第8回：重複障害の指導 ②姿勢・運動に関する指導 第9回：重複障害の指導 ③言語・コミュニケーションに関する指導 第10回：重複障害の指導 ④授業づくりとその評価 第11回：重複障害の個別の指導計画と個別の教育支援計画の作成・活用と評価・改善 第12回：重複障害教育における教育課程の編成とカリキュラム・マネジメント 第13回：重度・重複障害の心理・生理・病理と教育課程・指導法 第14回：重複障害の医療的ケア 第15回：重複障害における教育、医療、福祉、労働機関等との連携 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
樋口和彦編著(2021)、『重度・重複障害児の学習とは？ ―障害が重い子どもが主体的・対話的で深い学びを行うための基礎―』ギアーズ教育新社、978-4-86371-578-3 文部科学省「特別支援学校学習指導要領」 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/1386427.htm			
参考書・参考資料等			
樋口 和彦編著(2024)、『重度・重複障害児の学習とは？Vol.2―障害が重い子どもの能動的な学習を促進する学習内容と学習環境の設定―』、ギアーズ教育新社、978-4863716773			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			